

平成 26 年度三重県厚生事業団事業報告書

1 いなば園の自立経営

三重県いなば園成人施設は、障害者総合支援法サービス体系で利用者本位の支援を行った。成人施設への入所者は 10 名で、児童施設から 4 名、在宅から 6 名であった。退所者は 10 名で、在宅へ 4 名、他施設へ 3 名、病院等へ 3 名であった。

2 三重県身体障害者総合福祉センターの指定管理

三重県身体障害者総合福祉センターを、指定管理者として管理運営を行った。障害者支援施設部門（生活援助棟）は、障害者総合支援法サービス体系で支援を行い、入所利用者の地域移行者は 8 名で、入所定員に対する割合（地域移行率）は 20%であった。

3 第四次中期経営計画の取組み

(1) マネジメントシステムの展開

「バランススコアカード」に沿って、所属長のマネジメントシートを用いて、数値目標の設定、情報の共有化、対話による事業実施などの手法により、法人理念に基づいた経営を行った。

(2) 利用者、職員アンケートの実施

現状を正確に把握、認識するため、利用者並びに家族、及び職員に対し意識調査をアンケート形式で行った。

対 象	実施日	回 答 数
いなば園 利用者嗜好調査	平成 26 年 9 月	145/145 名(100%) ※職員代筆含
いなば園 利用者アンケート	平成 26 年 12 月	146/147 名(99.3%) ※職員代筆含
いなば園 保護者アンケート	平成 26 年 12 月 ～平成 27 年 1 月	90/168 名(53.5%)
身障センター 利用者アンケート	平成 26 年 8 月 平成 27 年 2 月	97/131 件(74.0%) 98/132 件(74.2%)
事業団職員アンケート	平成 26 年 12 月	167/169 名(98.8%)

(3) 人材育成の取組み

平成 26 年度採用職員を対象に 5 月 8 日及び 7 月 1 日に「新入職員研修」、11 月 6 日に「採用後 6 か月研修」を、採用後 9 年、10 年の職員を対象に 10 月 9 日に「中堅職員研修」を実施した。また、新たに管理職員に任用された職員を対象に 6 月 24 日に「課長・寮長昇格時研修」を、7 月 29 日に「副寮長昇格時研修」を、9 月 19 日、10 月 17 日、2 月 12 日に「部長昇格時研修（個人別）」を実施した。

人事考課制度の考課結果に基づき、3 月賞与を支給した。

4 法人の運営

(1) 理事会の開催

法人の事業報告、収支決算及び事業計画、予算等について審議するため理事会を開催した。

	開催期日	審議内容
第90回理事会	平成26年5月30日	・定款の変更(案)について ・平成25年度事業報告及び決算(案)について ・役員・評議員の選任について
第91回理事会	平成26年5月30日	・理事長の選出について
第92回理事会	平成27年3月20日	・役員・評議員の選任について ・定款の変更(案)について ・諸規程の改正(案)について ・平成26年度補正予算(案)について ・平成27年度事業計画及び予算(案)について

(2) 評議員会の開催

	開催期日	審議内容
平成26年度 第1回評議員会	平成26年5月30日	・定款の変更(案)について ・平成25年度事業報告及び決算(案)について ・役員の選任について
平成26年度 第2回評議員会	平成27年3月20日	・役員の選任について ・定款の変更(案)について ・諸規程の改正(案)について ・平成26年度補正予算(案)について ・平成27年度事業計画及び予算(案)について

(3) 監査

事業執行状況の監査が行われた。

監査実施者	期日	監査内容
法人監事	平成26年5月23日	平成25年度事業及び決算監査
外部監査	平成26年9月1、2、3日	平成25年度決算監査

(4) 経営会議

法人の具体的経営方針を決定するため、理事長及び施設長による経営会議を年間22回開催した。

(5) 施設の経営

①稼働率

	種別	指定事業別認可定員	稼働率	指定（開設）年月日
いなば園 (昭和52年開設)	施設入所支援事業所	すぎのき寮 40名 かしのき寮 40名 もみのき寮 40名	97.4%	平成20年3月1日
	生活介護事業所			
	一体型共同生活援助事業所	ドリームハウス 4名 レインボーハウス 4名 ひだまりはうす 8名 こもれびはうす 7名	96.5%	平成18年10月1日
	就労継続B型事業所	工房いなば 20名	92.5%	平成19年4月1日
	生活介護事業所	工房いなば 11名	91.8%	平成21年4月1日
	福祉型障害児入所施設	30名	82.4%	平成24年4月1日
	児童発達支援事業所	5名	99.7%	平成23年5月1日
	放課後等ディサービス事業所	5名	83.9%	平成23年5月1日
身障センター (昭和60年開設)	身体障害者福祉センターA型	—	貸出施設 年間延利用者 35,467人	昭和60年4月1日
	施設入所支援事業所	40名	73.1%	平成18年10月1日
	生活介護事業所	12名	72.0%	
	機能訓練事業所	29名	78.9%	
	生活訓練事業所	12名	65.8%	
	就労移行事業所	7名	60.8%	

②みえ福祉第三者評価事業

いなば園放課後等ディサービス事業所「プリズム」が、みえ福祉第三者評価事業の評価を受け、課題の改善に取り組んだ。

(6) 主な各種事業

①三重県知的障がい者セーフティネット機能事業（いなば園）

知的障がい者の緊急時に生活の確保等を目的とする事業を三重県から受託し、1名の緊急入所ニーズに応えた。

②障害児等療育相談支援事業（いなば園）

在宅の知的障がい児等の地域生活支援を目的として、津市、松阪市に障がい者相談支援センターに相談支援員が駐在し、専門機関と連携した相談、情報提供、各種サービスの利用調整を行った。

(相談支援対象者 津市 374名 松阪市 85名)

③障害者就業・生活支援事業（いなば園）

松阪・多気地域障がい者総合相談センター「マーベル」に相談支援員が駐在し、圏域内の障がい者等からの相談に応じ、必要な助言、支援を行った。

(相談支援対象者 396 名)

④津市障がい者相談支援事業 (いなば園)

津市の障害者福祉の向上、社会参加を促進するため、津市障がい者相談支援センターに相談支援員が駐在し、訪問及び外来等による相談支援や関係機関との連絡調整を行った。(相談支援対象者 186 名)

⑤伊賀市相談支援事業 (いなば園)

伊賀市から障がい者(児)のケアマネジメント及び相談支援業務を受託し、職員 1 名が専任した。(相談支援対象者 250 名)

⑥三重県障がい者就労安心事業 (いなば園)

一般就労を希望する施設利用者に、施設利用契約終了後も就労促進及び就労定着化を図ることを目的に、相談や交流活動等の支援を実施した。(支援対象者 3 人)

⑦三重県重度障がい者等地域移行支援事業 (いなば園)

知的障がい児施設に入所している加齢児の地域移行推進のためのネットワーク構築、支援の場の確保等を目的とする事業を三重県から受託し、支援を行った。(支援対象者 2 名)

⑧三重県高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業
(身体障害者総合福祉センター)

高次脳機能障がい者及びその家族の地域生活を支援することを目的に、相談支援、関係機関との支援ネットワークの充実及び支援関係者を対象とした研修を開催した。(相談支援対象者 172 名)

⑨三重県障がい者スポーツ推進環境整備事業 (身体障害者総合福祉センター)

平成 33 年に開催予定の全国障害者スポーツ大会三重大会に向け、障がい者スポーツの啓発を行った。県内にない団体競技・3 チーム (バスケットボール知的女子、バレーボール知的男子・女子) の結成に向けて体験教室や練習会を実施し、バレーボール知的男子チームを結成するとともに、24 年度から 25 年度に結成した 5 チーム (ソフトボール知的、フットベースボール知的、バレーボール聴覚男子、バレーボール聴覚女子、バスケットボール知的男子) の活動を支援した。また、中級障がい者スポーツ指導員養成講習会を実施し、15 名が修了した。